

居宅訪問型児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

平成 6年 3月 31日

事業所名:多機能型事業所にじいろ

		チェック項目	はい	いいえ	点工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1	訪問回数や専門性は適切であるか		4	・対象者の基準が厳しく感じています。 ・ご本人の特性や家庭状況、週間予定により訪問を行っています。	病期等の状態だけではなく、家庭状況なども踏まえて、厚木市と調整しながら支援を行っています。
	2	子どもの療育活動等に合せて、必要な準備等がおこなわれているか		4	・事前に準備を行っています	
	3	子どもの特性にあわせて、姿勢や環境を整えて、療育活動などをおこなっているか		4	・姿勢を工夫したり、いろいろ用意したりしています。 ・必要に応じて訪問看護やリハとの連携を図って行っています。	
	4	子どもの特性などに応じ、かかわり方や伝え方への配慮が適切になされているか		4	・子どもの特性にあわせて、工夫しながら行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		3	1 ・支援計画作成時の会議で行っています。	勤務より関われない職員がいるため、周知を確実に行っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		4	・頂いた評価をもとに業務改善の話し合いを行っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。		4	・ホームページに掲載しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	・現状では第三者評価実施の検討を行っていません。	第三者評価の費用面で非常に困難であるため、法人内の他事業所、実習受け入れの学校等の意見等、外部からの幅広い意見を確認していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		4	・施設内勉強会や外部研修への参加をおこなっています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、居宅訪問型児童発達支援計画を作成しているか		4	・モニタリングによる担当者のアセスメントをもとに、児発管や関連職種との話し合いをおこない作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		4	・子どもの障害特性に適合する標準化されたツールがないため、特性を踏まえながら個々に合わせた評価を行っています。	
	12	居宅訪問型児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		3	1 ・ご本人の支援、ご家族の支援、地域生活の支援を項目としてあげて、支援内容を設定しています。	日々の支援内容や個々の目的を職員間で共有するため、あらためてガイドラインの周知を図っていきます。
	13	居宅訪問型児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		4	・支援会議を元に、支援計画の作成を行い、実践しています。	
	14	療育活動内容が固定化しないよう工夫しているか		4	・年間計画を立て、季節を感じられる活動も取りまぜながら、固定化しないよう実践しています。	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		4	・日々の記録をもとに、定期的な振り返りを行い、改善等につなげています。	
	16	定期的にモニタリングを行い、居宅訪問型児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		4	・定期的なモニタリング、見直しを行っています。	
	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		4	・担当者や児発管が参加し、現状や方向性を報告をしています。	
	18	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		4	・相談支援員を中心に行っています。	
	19	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		3	1 ・主治医指示書を導入し、医療機関との連携をはかるとともに、適宜、地域間機関との連携をおこなっています。	日々の記録やミーティングなどを活用して、連携についての共有を図っていきたく思います。

関係機関や保護者との連携	20	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4		・緊急時申し送りカードの作成と活用を行っています。主治医や医療機関との情報共有は、主に・看護師が対応しています。	
	21	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	・相談支援員を通してカンファレンスなどを開催してもらい、参加しています。	事業所内での情報共有を徹底して行いきます。
	22	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	・会議等も活用して、教育委員会との連携を図っています。	事業所内での情報共有を徹底して行いきます。
	23	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		・センター等が主催する研修等に参加しています。	
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1	・参加しています。	事業所内での情報共有を徹底して行いきます。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		・送迎時間やモニタリング時に、ちょっとしたことも共通認識できるように促しています。 ・また、療育内容や様子などもご家族に理解がしやすい説明を心がけています。	
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4		・利用されるお子さまの特性上、明確なプログラムは用意していませんが、ご家族の状況も踏まえて、個別的に検討して支援を行っています。	
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4		・契約時や規定等の変更時に直接説明をしています。	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から居宅訪問型児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1	・支援計画の説明時に、わかりづらいところなどの確認を行いながら、同意を得ています。	事業所内での情報共有を徹底して行いきます。
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4		・訪問時や支援計画のモニタリング時などで話を伺い、助言や支援を行っています。	
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		・家族懇談会や療育作品展などを開催し、保護者通しのつながりができるように支援しています。	
	31	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		・申し入れに対して、担当者や責任者を中心とした体制づくりをしています。それをもとに対応や、ご家族、関係機関への周知をおこなっています。	
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		・日々の連絡帳の活用や事業所ホームページ、施設機関誌を活用して発信しています。	
	33	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	4		・事業所内では鍵のかかる書庫での保管を行っています。情報の使用については、ご家族へ同意書を取り、随時確認しながら行っています。	
非常時等の対応	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・十分な配慮ができるようにこころがけ、口頭だけではなく、文章や絵、サインを活用しています。	
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		・マニュアルの随時更新を行っています。 ・マニュアルをもとに、災害訓練実施や災害を想定した話し合いを行っています。	
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	・訪問では、事業所からの緊急連絡のため、スマホ等を活用して安否確認や指示系統の維持に努めるようにしています。	事業所内での情報共有を徹底して行いくとともに、施設外での被災後活動について、再検討していきます。
	37	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・指示書等で確認するとともに、わからない事は積極的に医師、看護師に確認しています。	
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・年度末に実施して、事業所内で共有しています。	

39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	・研修の開催や、マニュアル、必要書類等の調整を行っています。	
40	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	・事業所会議において、話し合いや勉強会を行い、対応を検討し、計画書への記載をおこなっています。	